

責任者
正任者
敏員
集名
3
行責
古集
編責
石川
他編
石川
他編
3

SEOS便り

平成26年度

新事業年度の抱負

常務取締役 古谷 正実

社員の皆様！毎日の勤務お疲れ様です。新事業年度のスタートに当り、私の抱負を述べさせていただきます。

本年は、与党も安定政権となり、政治面・経済面も概ね順調に推移するものと予測しております。ただ政治面では、近隣諸国との外交問題が、経済面では、中小企業の底上げ対策が課題かと思われま

す。その中小企業が九九%を占める私達の業界は、今の所景気の回復感は無く、むしろ消費税増税により、経営環境は更に厳しいものになると推測しております。

しかしこの環境下、弊社は二十六年度も増収増益の事業計画を、次の四つの事項を基軸に策定致しました。

- 新規顧客の拡大
 - 既存顧客の維持
 - 財務体質の強化
 - 社員教育の推進
- また、本年度の経営課題は、以下の事項です。

- 標準の統一
- 不採算部門の撤退
- 埼玉支社の移転
- 労働力不足解決への仕掛け作り

以上を具現化する為に重要な事は、全社員が「少しでも良い会社にしよう!」という強い意志を持つ事なのです。そして会社をリードする私以下管理職が「覚悟と決意」を持って自ら先頭に立ち実行する事なのです。本年の干支の甲午のように「夢に向い伸び上がる会社」を目指して参ります。

皆様の御理解と御協力を宜しくお願い致します。



取締役管理本部長

石川 勝敏

今月より新事業年度がスタートしましたが昨年度の業績は、GMCが計画外費用の発生等により売上・営業利益共に達成できませんでしたが、AGSにおいては二項目共に達成し七年振りの快挙で締めくくることができました。大変ご苦労様でした。

さて、本年度ですが常務の年頭の挨拶にありました通り、GMC・AGSが合併を前提とした準備の初年度として位置付けられている重要な年でもあります。従って事業計画の数値目標の達成は当然のことながら、合併に向けた社内体制の整備と統一を進めていく必要があります。その主な内容は

- 一、顧客管理の統合・・・窓口の一本化や社内書類の統合等
- 一、風土・意識の融合と管理手法の標準化
- 一、社内規定の統一・・・給与規定等
- 一、許認可登録の変更手続や社名変更等の多岐に亘る膨大な準備が予測されます。そのため、課題と対策を検討するプロジェクトを既に立ち上げて取り組んでいます。

通常の年以上に業務繁忙となりますが、「合併のメリット」を充分活用し、安定した事業継続が実現できるよう職務に邁進する覚悟であります。社員皆様の御理解と御協力をお願いする次第です。



取締役GMC事業本部長

本部長(兼)施設部長

白濱 実幸

平成二十六年度は、合併に向けた準備の年として、今一度、自分の立ち位置、会社の立ち位置をしっかりと理解、認識した上で事業計画を遂行して参ります。

- 一、営業力の強化。SEOSブランド(部門間連携)による組織的営業の展開。
- 二、収益力の向上。売上に対する総額人件費のバランス調整。
- 三、人材の育成と組織づくり。部門異動による人事交流および、管理監督者教育による人材発掘と育成。

以上三点を基軸に、事業および組織の選択と集中を推進し、収益基盤の確立を目指します。そして、将来にわたりお客様に信頼され続け、持続的成長が出来る為の取り組みを進めて参りたいと考えております。皆様方の御理解と御協力を宜しくお願い致します。



AGS事業本部 副本部長 續 美明

二十五年度は解約等も多く大変厳しい状況でしたが、荻窪タウンセブンの大型物件や南越谷商店会の防犯カメラ機販の獲得が大きく貢献し、七年ぶりに売上及び利益目標を達成することが出来ました。皆様の御協力に心より感謝し御礼申し上げます。

平成二十六年度は、警備業の取り巻く環境は厳しい状況にあります。更なる増収増益に向けて事業を推し進めます。また、新規顧客の拡大、既存顧客の維持、幹部教育、財務体質の強化、法令遵守等の経営課題を推進する為、組織の活性化、情報収集力強化と共有化、報道相の徹底、警備のプロ集団としてホスピタリティの徹底と実践により、お客様の信用信頼をより強固にしていきたいと思います。



経理部長 砂田 隆

新事業年度がスタート致しましたが、ビルサービスを取り巻く環境は決して良いとは言えない中、お客様との信頼関係を一層強固なものにしていかねばなりません。その為には、契約書の未整備状態の解消、経理部内の担当業務の個々のマニュアル作成による業務ローテーションの実施、合併準備作業としての書式の統一の確認と検証、会計システムと



業務フローの新たな構築(消費税八%・十%対応を含む)の三点を目標として全力で取り組んで参ります。

常駐保安部長 中村 宏

常駐保安部におきましては、古谷常務が先頭に立ち全社一丸となり、荻窪タウンセブンを獲得し手探り状態ではありませんでしたが業務を推進して、大きな成果を得ることが出来ました。これも何年もかけて種をまき育てたことが実った結果です。人員不足という大きな課題はありますが、「木は植えなければ林にも森にも成りません。」

二十六年度は、「巧遅」より「拙速」をモットーに失敗にへこたれずチャンスに何度でも挑戦し、全員営業で目標達成(大きな森づくり)を目指しましょう。



環境部長 児嶋 和彦

数々の感動を呼んだソチオリンピックも終了し、睡眠不足からは解放されましたが、宴の後のような淋しさも感ずる今日この頃です。

勝敗には運・不運が付いて回ります。ヨーロッパでは、幸福の女神は後頭部がハゲているという言い伝えがあるそうです。女神が目の前に来た時に、前髪をむんずと掴まないことと通り過ぎた時に、後ろから掴まえるようにもハゲてて捕まえないという意味です。

新年度は決してチャンス逃すことの無いように、全員が「鶴の目・鷹の目」で、且つ貪欲に仕事に取組み、増収増益を達成する所存です。



機械警備部長 寺本 憲生

平成二十五年度は、機械警備部そしてAGSともに、久しぶりに売上と営業利益の双方の目標達成ができた年でした。これも機械警備部内においては、南越谷商店会の防犯カメラシステム工事受注が大きな要因であります。平成二十六年度も事業計画達成のためには、第二・第三の「南越谷商店会」(防犯カメラシステム工事)の受注獲得が必須であります。また部門間の垣根を取り払った営業展開や業務推進が今まで以上に必要になる年であると考えております。

皆様のご協力をお願い致します。



埼玉支社長 岩澤 利彦

平成二十五年度は好条件も重なり、また数多くの方々の力添えもいただき、支社全体としては売上・利益とも達成することが出来ました。

平成二十六年度は、合併を目指した準備期間として、本社・各支社と連携を取りながら考え方や書式の統一を図り、各社員へ浸透させて参ります。

また、清掃・設備・警備等のお仕事をいただけるビル(大宮又は越谷地区)への支社移転を考えており、これを実行することで売上拡大、意識高揚を図りたい。

これらは社員それぞれが同じ方向を向いてこそ達成されるものと信じ、コミュニケーションを大切にし、皆様のお力を拝借したいと思っております。



千葉支社長代理 岡野 勇

平成二十六年度は今年であります。「午」は流れが変わる「転換点」「基準点」を表します。午前午後を分かつ「正午」、北極と南極を結ぶ「子午線」などにその意味が残ります。それが必然なら良い転換点にすればいい、グループ共通経営指針「新たな革新と創造を目指して」GMCとAGSの共通のSEOSブランドの向上と営業推進を図るとともに、既存の顧客ニーズに対応しサービスの向上に努め、常に危機意識と危機管理を持ち、皆様の知識力を持って、業務拡大に努力して参りますので宜しくお願

い致します。



横浜支社長代理 阿部 良一

昨年度を振り返りますと、横浜支社は前半、AGS・GMC共に売上・営業利益が低迷し、後半少しずつ改善していきましたが、結果としては不本意に終わってしまいました。

新年度を迎えるにあたり、今年度の抱負は「信頼される事業の構築」です。新年度は消費税増税が決定して、より厳しい環境での平成二十六年スタ

トとなりますが、事業計画達成に至るまでの経過を大切に、お客様との信頼性向上に努力していく所存です。



新事業年度 経営指針

平成26年度小泉グループ共通経営指針
新たな革新と創造を目指して
激変する環境へ「覚悟と決意」をもって臨む

1. 営業の総点検
 - 企業の「強み・弱み」を把握し、新たなニッチ市場の開拓 -
2. 総額経費の圧縮
 - 「一歩・一分・一円」単位で更なる超効率化に挑戦 -
3. 後継者の育成
 - 企業「理念・使命・目的」の理解と共有で夢のある心豊かな人材を育成 -
4. 危機管理の徹底
 - 想定外の事件・事故へ常に「心の準備」を -



実際に現場に赴き、給与明細を手渡しする様子

次世代を担う幹部社員育成を目的とした「管理監督者教育」では、参加者が各班に分かれて様々なテーマに取り組んでいます。その中で、今回はA1班が取り組んでいる内容についてご紹介します。

A1班では、会社から届いた給与明細の束から、隊員が自ら明細を探して持つていく現状に着目。AGS埼玉支社の機動隊員全員を対象に、上長から直接給与明細を手渡し、会話をすることで、会社と従業員とのつながりを深める場を作りました。

隊員と話すごで次第に距離感も近づき、自分を知ってもらうことが本人のやる気にもつながると実感。その中でコントロールセンター要員の顔がわからないという意見があり、顔写真入りの名簿を作成し配布したところ好評を博し、横浜・千葉支社にも配布しました。埼玉支社の皆さんには貴重な仕事の合間を研修にお付き合ひ頂き、ありがとうございました。

上長から直接、給与明細を手渡しに行こう！
〜管理監督者教育より〜

文京区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定

平成26年1月23日に文京区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定授与式が行われました。

ジーエムシーと全日本ガードシステムは2年前に認定を受けており、今回は更新ということでしたが、無事に認定されました。



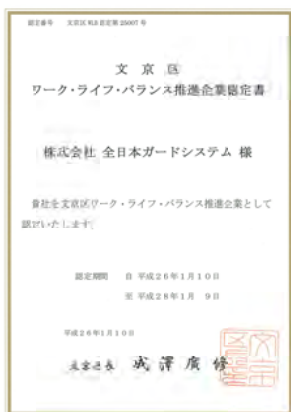
授与式にはAGS代表で寺本機械警備部長(右上)GMC代表で児嶋環境部長(右下)が出席致しました。



2月24日(月)朝礼にてご挨拶されました。

三十年以上にわたり全日本ガードシステムにてご活躍されました、全日本ガードシステム事業本部付顧問の松本孝次さんが二月末日付で御勇退されました。昭和五十五年九月に当社に入社し、平成十五年四月から常駐保安部長を務め、平成二十四年四月からはAGS事業本部長としてご活躍されました。今後の御健勝を祈念いたします。

永い間の勤務
大変お疲れ様でした



常駐保安部 齋藤則之課長補佐

東京都警備業協会にて行われた労働災害防止に関する標語募集で、常駐保安部の齋藤則之課長補佐の作品が入選されました。おめでとうございます。

入選標語
「健康管理は仕事の基本
働く人は体が資本」

表彰